

東日本大震災被災労働者に対する  
緊急健康診断実施結果報告書

平成 24 年 7 月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
メンタルヘルス専門委員会

## 目次

はじめに

1	緊急健康診断の計画	-1-
(1)	緊急健康診断の内容	-1-
(2)	対象事業場及び対象労働者	-1-
(3)	実施地域、実施期間及び健診予定数	-1-
(4)	健診実施機関との打合せ会議	-1-
(5)	受診者に対する結果報告	-1-
(6)	受診者のフォローアップ	-1-
(7)	健康診断結果の集計・分析	-2-
(8)	緊急健康診断事業の周知	-2-
(9)	健診申込受付	-2-
(10)	実施状況の確認	-2-
2	緊急健康診断の実施結果の概要	-3-
(1)	事業の概要	-3-
(2)	対象事業場及び受診対象労働者	-3-
(3)	実施地域	-3-
(4)	事業実施機関	-3-
(5)	事業の内容	-3-
(6)	「被災労働者に対する緊急健康診断事業」実施打合せ会議の開催	-4-
(7)	緊急健康診断事業ストレスチェック担当者研修会の開催	-5-
(8)	事業の実施手順等	-5-
3	緊急健康診断の実施状況	-6-
(1)	健康診断の実施状況	-6-
(2)	アンケート調査の実施状況—県別回答者数—	-18-
(3)	ストレスチェックの実施状況	-18-
4	緊急健康診断の結果とその分析	-27-
(1)	緊急健康診断結果と東日本大震災以前の健康診断結果	-27-
(2)	ストレスチェックの結果とその分析	-31-
(3)	アンケート調査の結果	-35-
(4)	アンケート調査回答状況とストレスチェック結果の関係	-38-
付属資料		
I	事業周知用チラシ	-43-
II	アンケート調査票	-45-
III	ストレスチェックシート	-46-

## はじめに

平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災が発生した。本震災は、わが国における最大級の震災であり、その被害は甚大で、かつ、広域にわたった。

厚生労働省においては、第 177 回国会（通常国会）に提出された平成 23 年度第一次補正予算に「被災労働者に対する緊急健康診断事業」（無料の健康診断の実施に必要な経費）として 10 億円余りを計上し、同補正予算は平成 23 年 5 月 2 日に成立した。

東日本大震災の被災労働者に対する臨時の健康診断（以下「緊急健康診断」という。）は、被災地域において、自らの健康に不安を感じる労働者に対して法定の一般定期健康診断項目に加えてアンケート調査及びストレスチェックを実施することにより、震災によるストレス及び過労等から生じる健康障害等を予防し、健康確保に資することを目的としたものである。

緊急健康診断事業は、厚生労働省により委託のための一般競争入札（最低価格落札方式）が行われ、その結果、同年 7 月 1 日に公益社団法人全国労働衛生団体連合会（以下「全衛連」という。）に委託されることになった。これにより同月から同年 10 月までの間に緊急健康診断が実施された。

本報告書は、緊急健康診断の計画から実施、さらに事後評価等を行った結果について報告し、記録を残すとともに、今後の類似事業の参考となるべく作成するものである。

平成 24 年 7 月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
メンタルヘルス専門委員会  
委員長 高田 勲

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
メンタルヘルス専門委員会

- 委員長 高田 勗 北里大学 名誉教授
- 荒井 稔 東京臨海病院 診療部精神科 部長
- 大西 守 (公社) 日本精神保健福祉連盟 常務理事
- 黒木 宣夫 東邦大学医学部 精神神経医学講座 (佐倉) 教授
- 中村 純 産業医科大学 精神医学教室 教授
- 森崎美奈子 京都文教大学大学院 臨床心理学部 非常勤講師
- 吉村 靖司 (医社) 弘富会 神田東クリニック 副院長

## 1 緊急健康診断の計画

緊急健康診断の実施計画の概要は、次のとおりである。

### (1) 緊急健康診断の内容

#### ア 健康診断

(ア) 被災地域において、自らの健康に不安を感じる中小事業場の労働者に対し、健康診断（労働安全衛生規則第44条第1項に定める項目）を実施する。

なお、各健康診断項目については、労働安全衛生規則・告示の省略基準に基づき医師の判断に基づき省略可能とし、また、受診者が希望しない項目についてはこれを省略する。

(イ) 健康診断は、中小事業場等に赴いて実施する巡回健康診断又は健康診断機関の施設で実施する施設健康診断とする。また、津波被害により事業場施設が確保できない場合には、被害を受けなかった周辺の公共施設、避難場所等において集合健康診断を実施する。

(ウ) 健康診断は申込順とするが、地震や津波による直接的被害のほか、震災により経営環境が激変した地場の中小事業場の労働者に配慮する。

#### イ ストレスチェック

震災等のストレスによる健康影響が懸念されることから、健康診断に併せて労働者の希望に応じてストレスチェックを実施し、必要な助言を行う。

### (2) 対象事業場及び対象労働者

300人未満の中小事業場の労働者を対象とする。

### (3) 実施地域、実施期間及び健診予定数

実施地域は岩手県、宮城県及び福島県内とし、実施期間は契約日から平成23年10月31日までとする。また、健診予定数は次表のとおりとする。

県別	項目	7月	8月	9月	10月	計
岩手県	会場予定数	123	115	148	149	535
	健診予定数	6,500	6,000	7,800	7,200	27,500
宮城県	会場予定数	246	262	373	414	1,295
	健診予定数	9,550	10,850	12,650	14,800	47,850
福島県	会場予定数	172	132	174	181	659
	健診予定数	9,800	8,590	11,780	11,130	41,300
合計	会場予定数	541	509	695	744	2,489
	健診予定数	25,850	25,440	32,230	33,130	116,650

### (4) 健診実施機関との打合せ会議

事業円滑実施のため、契約日直後に健診実施機関との打合せ会議を開催する。

### (5) 受診者に対する結果報告

健康診断結果及びストレスチェック結果は受診者ごとに封入し、健康診断実施後3週間以内に受診者に確実に届く方法をもって通知する。

### (6) 受診者のフォローアップ

健診結果及びストレスチェック結果について受診者より問い合わせがあった場合、専門的な

立場から情報提供をする等の確に対応する。

**(7) 健康診断結果の集計・分析**

健康診断及びストレスチェックの実施に当たっては、震災等の影響を評価の参考とするため、一定のアンケート調査票を用いる。

**(8) 緊急健康診断事業の周知**

**ア チラシの作成**

緊急健康診断事業に係る周知用チラシを作成し、被災地域において健診実施機関を通じて中小事業場等に案内する。また、商工会議所、商工会等の経営者団体等にも周知するとともに、労働局、労働基準監督署にチラシを配布し、中小事業場等に周知する。

**イ ホームページによる周知**

事業開始時より全衛連のホームページに緊急健康診断事業に係る情報を掲載する。岩手、宮城及び福島の各労働局にホームページへの緊急健康診断事業に係る情報の掲示を依頼する。

**(9) 健診申込受付**

健診の申し込みは、事業場、事業協同組合、工場団地等の他労働者個人からも受け付ける。健診の実施に当たっては、申し込みのあった事業場、事業協同組合、工場団地等と予め健診日時、健診場所等を調整する。また、労働者個人の申し込みに対応するため、健診日時、健診場所をチラシ等により周知するとともに、健診実施機関の施設においては個人の健診を随時受け付ける。

健診の実施は申込順とし、計画した枠をもって終了とする。

**(10) 実施状況の確認**

全衛連は、健診実施機関より7月から10月までの各月の末日までの健診実績を報告させ、進行管理等必要な調整を行う。

また、事業終了後速やかに事業実施結果報告書を厚生労働省に提出する。

## 2 緊急健康診断の実施結果の概要

### (1) 事業の概要

東日本大震災で被災した労働者を対象に、震災によるストレス、過労から生じる健康障害等を予防するため、平成23年7月4日から10月末の間、被災労働者を対象に緊急健康診断を実施し、必要な指導を行った。

緊急健康診断は、中小事業場等へ赴いて実施する巡回方式により、又は受診者が健康診断機関の施設に来所する方式により実施した。

### (2) 対象事業場及び受診対象労働者

東日本大震災で被災した300人未満の中小事業場の労働者を対象とした。実施事業場数は、8,437事業場、受診者数は、116,072人であった。

なお、対象となった事業場及び受診労働者の詳細は、次項目「3 緊急健康診断の実施状況」のとおりである(次の(3)・(4)について同じ)。

### (3) 実施地域

震災により甚大な被災を受けた岩手、宮城、福島県で実施した。

### (4) 事業実施機関

本事業の実施は、全衛連会員機関である次の4機関により実施した。

(公財) 岩手県予防医学協会

(財) 宮城県成人病予防協会

(一財) 杜の都産業保健会

(公財) 福島県労働保健センター

なお、被災労働者の希望により一部上記以外の健診機関で実施したケースもあるが、その場合、会員機関の協力機関という位置付けで事業を実施した。健診結果に係るデータ管理は会員機関が責任を持って行った。

### (5) 事業の内容

緊急健康診断の内容は、以下のとおりである。

なお、その結果の詳細は、「4 緊急健康診断の結果とその分析」のとおりである。

#### ア 健康診断内容

健康診断の内容は、労働安全衛生法に定める定期健康診断項目と同一とした。具体的な健康診断項目は、付属資料Ⅰ事業周知用チラシの裏面のとおりである。

#### イ アンケート調査及びストレスチェック

緊急健康診断の実施に当たり、通常一般健康診断で用いる問診票の他、緊急健康診断事業アンケートを実施した。また、希望者に対してストレスチェックを実施した。

##### (ア) アンケート調査

緊急健康診断の際に実施したアンケート調査の調査票は、付属資料Ⅱの「緊急健康診断事業アンケート」とおりである。

##### (イ) ストレスチェック

ストレスチェックの内容は、付属資料Ⅲの「全衛連ストレスチェックシート」のとおりである。

このストレスチェックの内容は、平成22年度から全衛連が実施している全衛連メンタルヘルスサービスで用いているストレスチェックシートであり、職業性ストレス簡易調査票に2

項目を加えた 59 項目となっているが、次の 2 分野を優先することとし、回答者に向けて「裏面の赤枠の部分だけの回答でも結構です」と表示した。

① 「最近 1 か月のあなたの状態についてうかがいます。」の設問 1～29

これらの設問のうち設問 1～18 は心理的ストレス反応、設問 13～18 の 6 設問は抑うつ感である。

② 「こころの健康問題について何か相談したいことがありますか。」(設問は一つ)

上記①の集計方法は、職業性ストレス簡易調査票における簡易採点法を用い、次のとおりとした。

回答区分	設問 1～3	設問 4～18
ほとんどなかった	4 点	1 点
ときどきあった	3 点	2 点
しばしばあった	2 点	3 点
ほとんどいつもあった	1 点	4 点

この集計の結果は、心理的ストレス反応と抑うつ感について次のような分布となり、また、有所見者を定義した。

区 分	心理的ストレス反応 (設問 1～18)	抑うつ感 (設問 13～18)
合計点の分布	18～72 点	6～24 点
有所見者の定義	51 点以上 (高ストレス状態)	17 点以上 (抑うつ傾向)

(6) 「被災労働者に対する緊急健康診断事業」実施打合せ会議の開催

平成 23 年 7 月 6 日、(財)宮城県成人病予防協会会議室(仙台市泉区本田町所在)において、上記の事業実施健診機関及び全衛連の実務責任者が出席する会議を開催した。議題及び資料は、次のとおりである。

ア 議題

- ① 緊急健康診断事業の進め方
- ② ストレスチェック及び事後指導に関する医師、保健スタッフ研修、サポート体制
- ③ 事業実施状況の把握
- ④ 事業の周知
- ⑤ その他

イ 資料

- No1 緊急健康診断事業準備事項
- No2 委託事業実施計画書
- No3 ストレスチェック実施証明書

## (7) 緊急健康診断事業ストレスチェック担当者研修会の開催

平成 23 年 7 月 31 日、フォレスト仙台において上記の事業実施健診機関の健診実施スタッフを対象とする研修会を開催した。講義のテーマ、講師等は、次のとおりである。

テーマ	講師	時間
緊急健康診断事業におけるストレスチェック実施方針	只野祐（全衛連専務理事）	60 分
事後指導面接のポイント	高野知樹（医療法人弘富会 神田東クリニック院長）	90 分
コンピュータ処理手順	大塚豊（株ディ・アイ・システム ソリューション事業部 部長）	50 分

## (8) 事業の実施手順等

### ア 周知

(ア) 緊急健康診断事業に係る周知用チラシを 12 万部作成し、被災地域において健康診断機関を通じて中小事業場等に案内したほか、労働局、労働基準監督署、商工会議所、商工会等の経営者団体等の協力を得て周知した。

(イ) 全衛連及び被災 3 県の全衛連会員機関のホームページに緊急健康診断事業に係る情報を掲載した。また、岩手、宮城、福島各労働局にホームページへの緊急健康診断事業に係る情報の掲示を依頼した。

### イ 健診申込受付

健診の申し込みは、労働者個人のほか、事業場、事業協同組合、工場団地等から労働者をまとめる形で受け付けた。健診の実施に当たっては、申し込みのあった事業場、事業協同組合、工場団地等と予め健診日時、健診場所等を調整し、実施した。また、労働者個人に対しては施設健診の予約という形で対応したほか、健診日時、健診場所を案内し、予約のうえ実施した。

### ウ 結果の通知

健診結果は、健康診断実施後 2 週間以内を目途に受診者に直接通知した。

### エ 健診結果のフォローアップ

健診結果、ストレスチェック結果について、受診者より問い合わせがあった場合、的確に対応した。

### 3 緊急健康診断の実施状況

#### (1) 健康診断の実施状況

##### ア 実施事業場数及び受診労働者数

平成 23 年 7 月 4 日から 10 月末に実施した緊急健康診断は、表 1-1 のとおり、健診会場数が 2,354 か所、事業場数が 8,437 事業場、受診者数が 116,072 人であった。

事業所数・常用雇用者数(表 1-2)に対する実施割合は、表 1-1 のとおり、事業所数で 3.14%、常用雇用者数で 6.49%である。

なお、県別では福島県の実施割合がやや低かった。

受診者数 116,072 人のうち、ストレスチェックを実施した受診者数は 32,844 人であり、その県別の内訳は後掲表 4 のとおりである。

表 1-1 緊急健康診断実施状況総括表

県別	健診会場数	事業場数 (実施率)	受診者数 (実施率)
岩手県	542	1,941 (3.03%)	31,757 (7.88%)
宮城県	921	4,861 (4.56%)	56,204 (7.45%)
福島県	889	1,635 (1.66%)	28,111 (4.47%)
合計	2,352	8,437 (3.14%)	116,072 (6.49%)

※ 実施率とは、表 1-2 の事業所数、常用雇用者数に対する割合 (%) である。

表 1-2 都道府県別・中小企業事業所数・常用雇用者数

—表 1-1 の実施率の母集団—

(平成 21 年経済センサス・基礎調査、1~299 人規模。公務を除く。)

県別	事業所数	常用雇用者数
岩手県	64,014	403,135
宮城県	106,487	754,820
福島県	98,202	629,313
合計	268,703	1,787,268

##### イ 月別・県別実施数

緊急健康診断の月別・県別実施数は、表 2 のとおりである。

7 月以降、月を追うごとにほぼ増加している状況がみられるが、次の理由が考えられる。

- ① 本事業については周知が重要であるが、時間の経過とともに周知が行き渡るようになったと考えられること。
- ② 実施機関においても事業場との接触が順次拡大されたと考えられること。

- ③ 事業場における平素の健診実施時期が9～10月には多いと考えられること。  
 ④ 東日本大震災から時間が経過するに従って、健康診断を受診する余裕が生じてきたと考えられること。

表2 月別・県別実施数

県別	区分	7月	8月	9月	10月	計
岩手県	会場数	84	76	146	236	542
	健診数	6,859	3,724	8,918	12,256	31,757
宮城県	会場数	107	187	260	367	921
	健診数	5,729	8,409	14,649	27,417	56,204
福島県	会場数	112	184	238	355	889
	健診数	3,020	5,752	8,173	11,166	28,111
合計	会場数	303	447	644	958	2,352
	健診数	15,608	17,885	31,740	50,839	116,072

#### ウ 巡回・施設別会場数

緊急健康診断の巡回・施設別の会場数と受診者数は、表3-1のとおりである。

平常時の一般定期健康診断の巡回・施設別受診者数については、4実施機関のうちの2実施機関のデータがあるので、これと比較すると、平常時の巡回健診受診者数の割合が72.2%であるのに対して緊急健康診断の巡回健診受診者数の割合は94.9%と大きな相違がみられた。この相違が生じた理由としては、次のようなことが考えられる。

- ① 緊急健康診断は労働者数300人未満の中小企業が対象であり、事業の遂行上余裕がないために巡回で来てくれるのであれば受けるという対応が多かったのではないかと推察されること。  
 ② 対象となった3県はいずれも面積が比較的大きい県であり、被災による交通機関の未復旧等により遠隔地からの施設受診が困難な場合が少なくないと考えられること。

表3-1 緊急健康診断の巡回・施設別会場数・受診者数

区分		岩手県	宮城県	福島県	計	構成比 (%)
巡回	会場数	406	742	748	1,896	80.6
	受診数	30,686	53,336	26,087	110,109	94.9
施設	会場数	136	179	141	456	19.4
	受診数	1,071	2,868	2,024	5,963	5.1
合計	会場数	542	921	889	2,352	100.0
	受診数	31,757	56,204	28,111	116,072	100.0

## エ 県別の受診者数と平均年齢

県別の受診者数と平均年齢は表4のとおりである。平均年齢については全体で41.8歳、ストレスチェック受診者数の全体で40.0歳であり、県別の差はほとんどなかった。

表4 県別受診者数と平均年齢

県別	受診者全体		左のうちストレスチェック受診者	
	受診者数	平均年齢	受診者数	平均年齢
岩手県	31,757	42.8	5,488	40.1
宮城県	56,204	41.4	23,713	40.7
福島県	28,111	41.6	3,643	38.8
合計	116,072	41.8	32,844	40.0

## オ 業種別受診者数

日本標準産業分類(平成19年[2007年]11月改定)の大分類による業種ごとの受診者数は、表5-1～表5-4のとおりである。

実施事業場数と受診者数が多かった業種は、次のとおりである。

- ① 製造業：1,650事業場数、35,521人（構成比30.6%）
- ② 卸売、小売業：1,601事業場、19,606人（同16.9%）
- ③ 建設業：1,360事業場、13,159人（同11.3%）
- ④ 運輸業・郵便業：705事業場、14,102人（同12.1%）

また、表5-1には事業場数と受診者数（計）の実施率を業種ごとに掲げているが、総務省平成21年経済センサスによる事業所数と常用雇用者数に対する実施率である。

全体としては、事業場数に係る実施率は3.1%、受診者数に係る実施率は6.5%である。実施率の高い業種は、次のとおりである。

- ① 電気・ガス・熱供給・水道業：事業場数115.0%、受診者数17.3%
- ② 鉱業、採石業、砂利採取業：事業場数21.0%、受診者数25.7%
- ③ 漁業：事業場数10.6%、受診者数18.9%
- ④ 製造業：事業場数9.0%、受診者数12.6%

なお、電気・ガス・熱供給・水道業の事業場数に係る実施率が115.0%となっているが、東日本大震災によるインフラ復旧工事のために全国の同業者が応援に来たことにより事業場数が急増するとともに、そのうちの多くの事業場が受診するようにしたためと考えられる。

表5-1 被災3県事業場の業種別受診者数

業 種	事業場数 (実施率%)	3 県受診者数			
		男	女	計 (実施率%)	構成比 (%)
農業、林業	90 (4.3)	1,044	462	1,506 (9.0)	1.3
漁業	31 (10.6)	464	143	607 (18.9)	0.5
鉱業、採石業、砂利採取業	43 (21.0)	340	72	412 (25.7)	0.4
建設業	1,360 (4.5)	11,626	1,533	13,159 (7.9)	11.3
製造業	1,650 (9.0)	22,935	12,586	35,521 (12.6)	30.6
電気・ガス・熱供給・水道業	245 (115.0)	1,206	237	1,443 (17.3)	1.2
情報通信業	55 (2.3)	419	219	638 (2.3)	0.5
運輸業、郵便業	705 (6.6)	12,704	1,398	14,102 (11.2)	12.1
卸業、小売業	1,601 (2.1)	10,646	8,960	19,606 (4.6)	16.9
金融業、保険業	47 (1.0)	492	530	1,022 (1.9)	0.9
不動産業、物品賃貸業	62 (0.4)	239	115	354 (1.2)	0.3
学術研究、専門・技術サービス業	292 (1.0)	1,148	465	1,613 (3.9)	1.4
宿泊業、飲食業	289 (0.9)	1,250	1,651	2,901 (1.8)	2.5
生活関連サービス業、娯楽業	163 (0.6)	1,002	1,001	2,003 (2.5)	1.7
教育、学習支援業	105 (1.4)	438	1,026	1,464 (3.7)	1.3
医療、福祉	272 (1.8)	1,487	4,107	5,594 (3.2)	4.8
複合サービス業	177 (7.8)	1,394	847	2,241 (10.9)	1.9
サービス業(他に分類されないもの)	912 (7.1)	5,730	3,223	8,953 (6.9)	7.7
公務(他に分類されるものを除く)	6	11	15	26	0.0
その他	332	1,751	1,156	2,907	2.5
計	8,437 (3.1)	76,326	39,746	116,072 (6.5)	100.0

表 5-1-2 業種別の事業所数と常用雇用者数（1～299 人規模）

—表 5-1 の実施率の母集団—

業 種	3 県合計	
	事業所数	常用雇用者数
農業、林業	2,080	16,826
漁業	293	3,208
鉱業、採石業、砂利採取業	205	1,605
建設業	30,020	167,037
製造業	18,326	283,006
電気・ガス・熱供給業・水道業	213	8,357
情報通信業	2,363	28,170
運輸業、郵便業	10,740	125,631
卸売業、小売業	75,967	429,397
金融業、保険業	4,524	53,814
不動産業、物品賃貸業	17,512	28,524
学術研究、専門・技術サービス業	28,828	41,643
宿泊業、飲食サービス業	32,997	157,072
生活関連サービス業、娯楽業	26,474	78,569
教育、学習支援業	7,244	39,177
医療、福祉	14,867	175,696
複合サービス業	2,255	20,501
サービス業（他に分類されないもの）	12,801	129,035
公務（他に分類されるものを除く）	—	—
その他	—	—
合 計	268,703	1,787,268

出典：総務省平成 21 年経済センサス・基礎調査。事業所集計・都道府県別結果。「産業（中分類）、従業者規模（13 区分）、経営組織（5 区分）別全事業所数、男女別従業者数、常用雇用者数及び 1 事業所当たり従業者数—都道府県、19 大都市」のうち「民営」を使用。派遣従業者のみの事業所を除く。

表 5-2 岩手県内事業場の業種別受診数

業 種	事業場数	受診者数			
		男	女	計	構成比 (%)
農業、林業	53	591	226	817	2.6
漁業	22	450	130	580	1.8
鉱業、採石業、砂利採取業	16	129	40	169	0.5
建設業	372	4,015	518	4,533	14.3
製造業	381	5,950	4,041	9,991	31.5
電気・ガス・熱供給・水道業	70	498	107	605	1.9
情報通信業	12	38	31	69	0.2
運輸業、郵便業	74	1,126	114	1,240	3.9
卸業、小売業	330	2,038	3,790	5,828	18.4
金融業、保険業	4	53	39	92	0.3
不動産業、物品賃貸業	12	36	10	46	0.1
学術研究、専門・技術サービス業	74	369	84	453	1.4
宿泊業、飲食業	35	265	343	608	1.9
生活関連サービス業、娯楽業	31	285	264	549	1.7
教育、学習支援業	28	36	395	431	1.4
医療、福祉	70	449	1,215	1,664	5.2
複合サービス業	89	294	272	566	1.8
サービス業(他に分類されないもの)	236	2,005	1,253	3,258	10.3
公務(他に分類されるものを除く)	2	3	0	3	0.0
その他	30	151	104	255	0.8
計	1,941	18,781	12,976	31,757	100.0

表5-3 宮城県内事業場の業種別受診数

業 種	事業場数	受診者数			
		男	女	計	構成比 (%)
農業、林業	32	323	69	392	0.7
漁業	9	14	13	27	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	15	95	16	111	0.2
建設業	858	6,288	839	7,127	12.7
製造業	833	8,441	4,535	12,976	23.1
電気・ガス・熱供給・水道業	158	601	108	709	1.3
情報通信業	37	290	153	443	0.8
運輸業、郵便業	439	8,515	935	9,450	16.8
卸業、小売業	936	6,268	3,461	9,729	17.3
金融業、保険業	38	373	459	832	1.5
不動産業、物品賃貸業	48	200	90	290	0.5
学術研究、専門・技術サービス業	162	447	289	736	1.3
宿泊業、飲食業	181	706	883	1,589	2.8
生活関連サービス業、娯楽業	96	431	430	861	1.5
教育、学習支援業	69	368	589	957	1.7
医療、福祉	144	711	2,006	2,717	4.8
複合サービス業	72	898	487	1,385	2.5
サービス業(他に分類されないもの)	592	3,072	1,725	4,797	8.5
公務(他に分類されるものを除く)	1	0	1	1	0.0
その他	141	727	348	1,075	1.9
計	4,861	38,768	17,436	56,204	100.0

表5-4 福島県内事業場の業種別受診数

業 種	事業場数	受診者数			
		男	女	計	構成比 (%)
農業、林業	5	130	167	297	1.1
漁業	0	0	0	0	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	12	116	16	132	0.5
建設業	130	1,323	176	1,499	5.3
製造業	436	8,544	4,010	12,554	44.7
電気・ガス・熱供給・水道業	17	107	22	129	0.5
情報通信業	6	91	35	126	0.4
運輸業、郵便業	192	3,063	349	3,412	12.1
卸業、小売業	335	2,340	1,709	4,049	14.4
金融業、保険業	5	66	32	98	0.3
不動産業、物品賃貸業	2	3	15	18	0.1
学術研究、専門・技術サービス業	56	332	92	424	1.5
宿泊業、飲食業	73	279	425	704	2.5
生活関連サービス業、娯楽業	36	286	307	593	2.1
教育、学習支援業	8	34	42	76	0.3
医療、福祉	58	327	886	1,213	4.3
複合サービス業	16	202	88	290	1.0
サービス業(他に分類されないもの)	84	653	245	898	3.2
公務(他に分類されるものを除く)	3	8	14	22	0.1
その他	161	873	704	1,577	5.6
計	1,635	18,777	9,334	28,111	100.0

## カ 職種別受診者数

職種（8区分）ごとの受診者数の状況は、表6-1～6-4のとおりである。被災3県の全体としては、技能職(生産工程/労務作業)30.5%、専門・技術職23.8%、運輸・通信職10.6%などの順に多い。

県別にみると、岩手県では技能職(生産工程/労務作業)30.5%、専門・技術職23.8%、運輸・通信職10.6%の順で全体の傾向と同様であるが、宮城県では専門・技術職34.6%が最も多く、次いで技能職(生産工程/労務作業)21.3%、運輸・通信職12.8%であり、福島県では技能職(生産工程/労務作業)41.5%が特に多く、次いで専門・技術職14.8%、運輸・通信職13.0%となっている。

表6-1 被災3県事業場の職種別受診数

職 種	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
専門・技術職	19,699	7,891	27,590	23.8
管理職	3,381	379	3,760	3.2
事務職	3,117	6,952	10,069	8.7
販売職	4,732	4,177	8,909	7.7
サービス職	5,480	5,828	11,308	9.7
運輸・通信職	11,854	469	12,323	10.6
技能職(生産工程/労務作業)	24,090	11,358	35,448	30.5
その他(どれにも該当しない場合)	2,493	1,594	4,087	3.5
無回答	1,480	1,098	2,578	2.2
計	76,326	39,746	116,072	100.0

表6-2 岩手県内事業場の職種別受診数

業 種	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
専門・技術職	2,489	1,499	3,988	12.6
管理職	1,018	107	1,125	3.5
事務職	797	1,835	2,632	8.3
販売職	1,409	2,218	3,627	11.4
サービス職	1,465	2,266	3,731	11.7
運輸・通信職	1,408	29	1,437	4.5
技能職(生産工程/労務作業)	7,930	3,905	11,835	37.3
その他(どれにも該当しない場合)	808	85	893	2.8
無回答	1,457	1,032	2,489	7.8
計	18,781	12,976	31,757	100.0

表 6-3 宮城県内事業場の職種別受診数

業 種	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
専門・技術職	14,158	5,289	19,447	34.6
管理職	1,556	209	1,765	3.1
事務職	1,724	3,916	5,640	10.0
販売職	2,449	1,357	3,806	6.8
サービス職	2,701	2,243	4,944	8.8
運輸・通信職	6,980	240	7,220	12.8
技能職(生産工程/労務作業)	8,305	3,640	11,945	21.3
その他(どれにも該当しない場合)	872	476	1,348	2.4
無回答	23	66	89	0.2
計	38,768	17,436	56,204	100.0

表 6-4 福島県内事業場の職種別受診数

業 種	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
専門・技術職	3,052	1,103	4,155	14.8
管理職	807	63	870	3.1
事務職	596	1,201	1,797	6.4
販売職	874	602	1,476	5.3
サービス職	1,314	1,319	2,633	9.4
運輸・通信職	3,466	200	3,666	13.0
技能職(生産工程/労務作業)	7,855	3,813	11,668	41.5
その他(どれにも該当しない場合)	813	1,033	1,846	6.6
無回答	0	0	0	0.0
計	18,777	9,334	28,111	100.0

## キ 年齢階級別受診者数

年齢階級別受診者数は、表7-1～表7-4のとおりである。3県の年齢階級別受診者数の母集団に相当する都道府県別年齢階級別労働者数は、平成22年国勢調査(平成22年10月1日現在)の「第2-2表 労働力状態(8区分)、配偶関係(4区分)、年齢階級(5歳階級)、男女別15歳以上人口(雇用者—特掲)—全国、都道府県、市町村・旧市町村」の「(再掲)雇用者(役員を含む)、主に仕事」の数値を用いて実施率を算定した。

表7-1 被災3県事業場の年齢階級別受診数

年代別	受診者数				左のうちストレスチェック実施者	
	男	女	計 (実施率%)	構成比	男女計	構成比(%)
～19	839人	639人	1,478人(7.6)	1.3%	544	1.7
20～29	14,600	8,998	23,598(6.9)	20.3%	7,997	24.3
30～39	20,621	9,326	29,947(6.5)	25.8%	8,868	27.0
40～49	15,419	8,475	23,894(5.5)	20.6%	6,332	19.3
50～59	15,229	8,826	24,055(5.4)	20.7%	6,117	18.6
60～69	8,782	3,268	12,050(6.3)	10.4%	2,769	8.4
70以上	836	214	1,050(3.7)	0.9%	217	0.7
計	76,326	39,746	116,072(6.0)	100.0%	32,844	100.0

表7-1-2 被災3県別・年齢階級別雇用者数

—表7-1の母集団—

年齢階級別	岩手県	宮城県	福島県	3県合計	構成比
～19	4,347	7,473	7,672	19,492	1.0%
20～29	75,341	147,269	119,431	342,041	17.7
30～39	107,214	197,154	159,057	463,425	24.0
40～49	104,702	177,005	155,283	436,990	22.7
50～59	108,117	173,258	165,511	446,886	23.2
60～69	46,167	78,425	66,733	191,325	9.9
70以上	7,338	11,174	10,160	28,672	1.5
計	453,226	791,758	683,847	1,928,831	100.0

出典：平成22年国勢調査(平成22年10月1日現在)の「第2-2表 労働力状態(8区分)、配偶関係(4区分)、年齢階級(5歳階級)、男女別15歳以上人口(雇用者—特掲)—全国、都道府県、市町村・旧市町村」の「(再掲)雇用者(役員を含む)、主に仕事」

表 7-2 岩手県内事業場の年齢階級別受診数

年代別	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
～19	299	249	548	1.7
20～29	3,506	2,301	5,807	18.3
30～39	4,495	2,717	7,212	22.7
40～49	3,838	3,050	6,888	21.7
50～59	4,071	3,298	7,369	23.2
60～69	2,326	1,293	3,619	11.4
70 以上	246	68	314	1.0
計	18,781	12,976	31,757	100.0

表 7-3 宮城県内事業場の年齢階級別受診数

年代別	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
～19	334	283	617	1.1
20～29	7,317	4,633	11,950	21.3
30～39	11,039	4,473	15,512	27.6
40～49	7,716	3,411	11,127	19.8
50～59	7,411	3,284	10,695	19.0
60～69	4,517	1,260	5,777	10.3
70 以上	434	92	526	0.9
計	38,768	17,436	56,204	100.0

表 7-4 福島県内事業場の年齢階級別受診数

年代別	受診者数			
	男	女	計	構成比 (%)
～19	206	107	313	1.1
20～29	3,777	2,064	5,841	20.8
30～39	5,087	2,136	7,223	25.7
40～49	3,865	2,014	5,879	20.9
50～59	3,747	2,244	5,991	21.3
60～69	1,939	715	2,654	9.4
70 以上	156	54	210	0.7
計	18,777	9,334	28,111	100.0

(2) アンケート調査の実施状況—県別回答者数—

アンケート調査の回答者数は、3 県の合計で 102,627 人である。これは健康診断受診者数 116,072 人の 88.4%に当たる。

その県別の内訳は表 8 のとおりである。

なお、これらの性別、業種別、職種別、年齢階級別等の県別の内訳は集計されていないが、回答者数が健康診断受診者数に近い人数であるので、その業種別等の内訳も近似していると考えられる。

表 8 県別回答者数

県別	回答者数
岩手県	23,629
宮城県	37,663
福島県	26,761
合 計	102,627

(3) ストレスチェックの実施状況

ア 県別受診者数

ストレスチェックの受診者の合計は、32,844 人である。この人数にはストレスチェックを受診したが、アンケート調査には回答していない 13 人が含まれる。

その県別の内訳は表 9 のとおりである。

表 9 県別受診者数

所在県別	受診者数		
	男	女	計
岩手県	2,750	2,738	5,488
宮城県	14,816	8,897	23,713
福島県	2,204	1,439	3,643
合 計	19,770	13,074	32,844

## イ 業種別受診者数

業種別の受診者数は、表10-1～10-4のとおりである。

業種の構成比をみると、被災3県では製造業、卸売・小売業、建設業の順に多い。岩手県では医療・福祉業がやや多く、建設業がやや少ない。宮城県では被災3県の傾向と同様であり、福島県では卸売・小売業が多く、建設業が少ない。

表10-1 被災3県の業種別受診者数

業種別	事業場数	受診者数			構成比 (%)
		男	女	計	
農業、林業	10	161	18	179	0.5
漁業	5	70	33	103	0.3
鉱業、採石業、砂利採取業	7	59	6	65	0.2
建設業	322	2,634	357	2,991	9.1
製造業	522	6,629	3,735	10,364	31.6
電気・ガス・熱供給・水道業	102	420	68	488	1.5
情報通信業	25	224	134	358	1.1
運輸業、郵便業	111	1,433	361	1,794	5.5
卸業、小売業	496	3,734	3,102	6,836	20.8
金融業、保険業	12	256	353	609	1.9
不動産業、物品賃貸業	9	37	21	58	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	66	213	154	367	1.1
宿泊業、飲食業	72	502	653	1,155	3.5
生活関連サービス業、娯楽業	49	275	300	575	1.8
教育、学習支援業	42	200	471	671	2.0
医療、福祉	113	648	1,827	2,475	7.5
複合サービス業	35	228	182	410	1.2
サービス業(他に分類されないもの)	288	1,598	960	2,558	7.8
公務(他に分類されるものを除く)	0	0	0	0	0.0
その他	72	420	338	0	0.0
不明	—	29	1	30	0.1
合計	2,358	19,770	13,074	32,844	100.0

表 10-2 岩手県の業種別受診者数

業種別	事業場数	受診者数			構成比 (%)
		男	女	計	
農業、林業	6	52	6	58	1.1
漁業	1	62	27	89	1.6
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0.0
建設業	32	228	43	271	4.9
製造業	83	1,049	753	1,802	32.8
電気・ガス・熱供給・水道業	8	52	10	62	1.1
情報通信業	1	0	2	2	0.0
運輸業、郵便業	5	38	3	41	0.7
卸業、小売業	46	381	862	1,243	22.6
金融業、保険業	0	0	0	0	0.0
不動産業、物品賃貸業	1	2	3	5	0.1
学術研究、専門・技術サービス業	6	18	7	25	0.5
宿泊業、飲食業	13	126	203	329	6.0
生活関連サービス業、娯楽業	19	97	87	184	3.4
教育、学習支援業	3	0	14	14	0.3
医療、福祉	33	161	466	627	11.4
複合サービス業	7	17	4	21	0.4
サービス業(他に分類されないもの)	39	423	212	635	11.6
公務(他に分類されるものを除く)	0	0	0	0	0.0
その他	7	44	36	80	1.5
不明	0	0	0	0	0.0
合 計	310	2,750	2,738	5,488	100.0

表 10-3 宮城県の業種別受診者数

業種別	事業場数	受診者数			構成比 (%)
		男	女	計	
農業、林業	4	109	12	121	0.5
漁業	4	8	6	14	0.1
鉱業、採石業、砂利採取業	7	59	6	65	0.3
建設業	281	2,286	295	2,581	10.9
製造業	380	4,416	2,464	6,880	29.0
電気・ガス・熱供給・水道業	93	367	58	425	1.8
情報通信業	22	156	103	259	1.1
運輸業、郵便業	96	1,372	358	1,730	7.3
卸業、小売業	381	2,723	1,770	4,493	18.9
金融業、保険業	12	256	353	609	2.6
不動産業、物品賃貸業	8	35	18	53	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	59	180	140	320	1.3
宿泊業、飲食業	49	342	414	756	3.2
生活関連サービス業、娯楽業	29	175	195	370	1.6
教育、学習支援業	39	200	457	657	2.8
医療、福祉	66	414	1,132	1,546	6.5
複合サービス業	28	211	178	389	1.6
サービス業(他に分類されないもの)	242	1,150	731	1,881	7.9
公務(他に分類されるものを除く)	0	0	0	0	0.0
その他	44	327	207	534	2.3
不明	0	30	0	30	0.1
合 計	1,844	14,816	8,897	23,713	100.0

表 10-4 福島県の業種別受診者数

業種別	事業場数	受診者数			構成比 (%)
		男	女	計	
農業、林業	0	0	0	0	0.0
漁業	0	0	0	0	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0.0
建設業	9	120	19	139	3.8
製造業	59	1,164	518	1,682	46.2
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	0	1	0.0
情報通信業	2	68	29	97	2.7
運輸業、郵便業	10	23	0	23	0.6
卸業、小売業	69	630	470	1,100	30.2
金融業、保険業	0	0	0	0	0.0
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	1	15	7	22	0.6
宿泊業、飲食業	10	34	36	70	1.9
生活関連サービス業、娯楽業	1	3	18	21	0.6
教育、学習支援業	0	0	0	0	0.0
医療、福祉	14	73	229	302	8.3
複合サービス業	0	0	0	0	0.0
サービス業(他に分類されないもの)	7	25	17	42	1.2
公務(他に分類されるものを除く)	0	0	0	0	0.0
その他	21	48	96	144	4.0
不明	0	0	0	0	0.0
合 計	204	2,204	1,439	3,643	100.0

## ウ 職種別受診者数

職種別の受診者数は、表 1 1-1～1 1-4 のとおりである。

職種の構成比をみると、被災 3 県では専門・技術職、技能職、サービス職の順に多い。岩手県では技能職とサービス職が多く、専門・技術職が少ない。宮城県では専門・技術職が多く、技能職が少ない。福島県では技能職が多く、専門・技術職が少ない。業種別の場合に比較して県による差が著しい。

表 1 1-1 被災 3 県の職種別受診者数

職種	受診者数			構成比 (%)
	男	女	計	
専門・技術職	7,535	3,730	11,265	34.3
管理職	932	100	1,032	3.1
事務職	1,035	2,173	3,208	9.8
販売職	1,498	1,182	2,680	8.2
サービス職	1,870	2,260	4,130	12.6
運輸・通信職	817	61	878	2.7
技能職(生産工程/労務作業)	5,665	3,199	8,864	27.0
その他(どれにも該当しない場合)	389	367	756	2.3
(空白)	29	2	31	0.1
合 計	19,770	13,074	32,844	100.0

表 1 1-2 岩手県の職種別受診者数

職種	受診者数			構成比 (%)
	男	女	計	
専門・技術職	349	415	764	13.9
管理職	190	23	213	3.9
事務職	205	312	517	9.4
販売職	295	452	747	13.6
サービス職	407	762	1,169	21.3
運輸・通信職	64		64	1.2
技能職(生産工程/労務作業)	1,156	760	1,916	34.9
その他(どれにも該当しない場合)	84	13	97	1.8
(空白)	0	1	1	0.0
合 計	2,750	2,738	5,488	100.0

表 1 1-3 宮城県の職種別受診者数

職種	受診者数			構成比 (%)
	男	女	計	
専門・技術職	6,851	3,111	9,962	42.0
管理職	559	57	616	2.6
事務職	713	1,637	2,350	9.9
販売職	1,022	623	1,645	6.9
サービス職	1,248	1,316	2,564	10.8
運輸・通信職	714	60	774	3.3
技能職(生産工程/労務作業)	3,462	1,897	5,359	22.6
その他(どれにも該当しない場合)	217	196	413	1.7
(空白)	30	0	30	0.1
合 計	14,816	8,897	23,713	100.0

表 1 1-4 福島県の職種別受診者数

職種	受診者数			構成比 (%)
	男	女	計	
専門・技術職	335	204	539	14.8
管理職	183	20	203	5.6
事務職	117	224	341	9.4
販売職	181	107	288	7.9
サービス職	215	182	397	10.9
運輸・通信職	39	1	40	1.1
技能職(生産工程/労務作業)	1,047	542	1,589	43.6
その他(どれにも該当しない場合)	87	159	246	6.8
(空白)	0	0	0	0.0
合 計	2,204	1,439	3,643	100.0

## エ 年齢階級別性別受診者数

年齢階級別性別の受診者数は、表12-1～12-5のとおりである。年齢階級別の構成比は表7-1の健康診断準者の年齢階級別の構成比とほぼ同一である。

表12-1 被災3県事業場の年齢階級別受診者数

年齢別	男	女	計	構成比 (%)
～19	281	263	544	1.7
20～29	4,571	3,426	7,997	24.3
30～39	5,665	3,203	8,868	27.0
40～49	3,610	2,722	6,332	19.3
50～59	3,518	2,599	6,117	18.6
60～69	1,954	815	2,769	8.4
70以上	171	46	217	0.7
計	19,770	13,074	32,844	100.0

表12-2 岩手県内の年齢階級別受診者数

年齢別	男	女	計	構成比 (%)
～19	35	63	98	1.8
20～29	725	640	1,365	24.9
30～39	842	614	1,456	26.5
40～49	510	614	1,124	20.5
50～59	421	619	1,040	19.0
60～69	193	176	369	6.7
70以上	24	12	36	0.7
計	2,750	2,738	5,488	100.0

表12-3 宮城県内の年齢階級別受診者数

年齢別	男	女	計	構成比 (%)
～19	198	170	368	1.6
20～29	3,283	2,420	5,703	24.1
30～39	4,137	2,228	6,365	26.8
40～49	2,658	1,793	4,451	18.8
50～59	2,739	1,686	4,425	18.7
60～69	1,664	569	2,233	9.4
70以上	137	31	168	0.7
計	14,816	8,897	23,713	100.0%

表 1 2-4 福島県内の年齢階級別受診者数

年齢別	男	女	計	構成比 (%)
～19	48	30	78	2.1
20～29	563	366	929	25.5
30～39	686	361	1,047	28.7
40～49	442	315	757	20.8
50～59	358	294	652	17.9
60～69	97	70	167	4.6
70 以上	10	3	13	0.4
計	2,204	1,439	3,643	100.0

#### 4 緊急健康診断の結果とその分析

##### (1) 緊急健康診断結果と東日本大震災以前の健康診断結果

被災3県において実施された緊急健康診断結果と全国の健康診断結果を比較した。

##### ア 緊急健康診断結果と定期健康診断結果調査（全国）の比較

厚生労働省の「定期健康診断結果調」における有所見率52.7%（平成23年分。以下「23年全国調査」という。）と比べ、緊急健康診断における有所見率70.9%は著しく高く、18.2ポイント上回っている。有所見率を項目別に比較すると、胸部エックス線検査、尿検査（蛋白）を除きすべての項目で緊急健康診断における有所見率が上回っている。特に、血圧検査（8.9ポイント）、肝機能検査（8.3ポイント）、血中脂質検査（11.6ポイント）、血糖検査（7.8ポイント）、心電図検査（6.1ポイント）が大きく上回っている（表13-1-1）。

表13-1-1 緊急健康診断・全国調査の有所見率の比較

項目 年	項目別の有所見率 (%)											所見のあった者の割合
	聴力(1000Hz)	聴力(4000Hz)	胸部X線検査	血圧検査	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	尿検査(糖)	尿検査(蛋白)	心電図検査	
平成23年 全国調査	3.6	7.7	4.3	14.5	7.6	15.6	32.2	10.4	2.7	4.2	9.7	52.7
緊急健診	4.4	12.3	4.4	23.4	9.8	23.9	43.8	18.2	4.0	3.2	15.8	70.9
差	0.8	4.6	0.0	8.9	2.2	8.3	11.6	7.8	1.3	-1.0	6.1	18.2

##### イ 緊急健康診断結果と被災3県22年度結果との比較

緊急健康診断実施4機関が過去の健診においても有所見率が高率となっているか否かについて検討するため、東日本大震災以前（平成20年度から22年度）の健康診断結果と比較した（表13-1-2）。

結果、緊急健康診断実施4機関の東日本大震災発生以前における一般定期健康診断結果は、全国調査（20年51.3%、21年52.3%、22年52.5%）よりいずれも高いが、その差は2～3%であり、緊急健康診断有所見率70.9%は東日本大震災発生以前と比べて明らかに高値であることが分かる。

なお、緊急健康診断実施4機関の22年結果が特異的でないことを確認するため、参考までに20年、21年実績も掲げた。

表 1 3-1-2 緊急健康診断・実施機関の有所見率の比較（対 2 2 年）

項目 年	項目別の有所見率 (%)											所見のあった者の割合
	聴力(1000Hz)	聴力(4000Hz)	胸部 X線検査	血圧検査	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	尿検査(糖)	尿検査(蛋白)	心電図検査	
平成 20 年	3.7	12.0	4.3	16.8	11.3	23.9	43.5	13.6	2.6	2.3	10.8	55.0
平成 21 年	3.7	12.1	4.4	13.3	11.6	20.1	41.6	11.2	2.6	2.2	10.7	54.8
平成 22 年	3.7	11.8	4.3	13.2	9.0	19.8	40.4	12.0	2.2	2.4	11.1	54.1
<b>緊急健診</b>	<b>4.4</b>	<b>12.3</b>	<b>4.4</b>	<b>23.4</b>	<b>9.8</b>	<b>23.9</b>	<b>43.8</b>	<b>18.2</b>	<b>4.0</b>	<b>3.2</b>	<b>15.8</b>	<b>70.9</b>
<b>22 年との差</b>	<b>0.7</b>	<b>0.5</b>	0.1	<b>10.2</b>	<b>0.8</b>	<b>4.1</b>	<b>3.4</b>	<b>6.2</b>	<b>1.8</b>	0.8	<b>4.7</b>	<b>16.8</b>

(考察)

上記ア及びイのような差が生じた理由としては、緊急健康診断は「自らの健康に不安を感じる中小事業場の労働者」を対象としていることによるものと考えられるが、緊急健康診断が事業場単位で実施されたケースが多く、その全員が自らの健康に不安を感じていたかについては必ずしも明らかではないことを考え合わせると、緊急健康診断の趣旨からだけでは説明できない。

緊急健康診断において、特に血圧、血中脂質、血糖、肝機能検査結果の所見が高率であった理由として、次のことが考えられる。

- ① 緊急健康診断は 7 月から 10 月にかけて実施され、震災後 6 カ月以内の不十分な生活環境、職場環境の影響、特に食生活環境の悪化が大きく影響していることが考えられること
- ② 受診者の 3 割が家族、親族、同僚労働者等身近な人を失っており、また、2 割弱が全壊、半壊、床上浸水の被害を受ける等によるストレス、さらには、将来の生活不安、就業不安等のストレスが検査数値に影響を与えた可能性は否定できないこと

などが考えられた。

なお、厚生労働省は 23 年全国調査の公表と併せて都道府県別の有所見率も公表（健診項目別有所見率は公表されていない）しているが、それによると岩手・宮城・福島の前年（平成 22 年）の有所見率は各々 54.0、53.4、55.0% という結果となっていることから、震災直後のこの時期、緊急健康診断受診者の集団（受診者 116,072 人は、岩手、宮城、福島県の常用雇用者数の 6.49%）は健康状態が悪かったといえる。

## ウ 年齢要因の確認

表1 3-1-1から、聴力検査、とりわけ聴力検査(4,000Hz)の緊急健康診断有所見率12.3%は、23年全国調査7.7%に比較して明らかに高く、有所見率に大きく影響を与える要素として、緊急健康診断受診者に高齢者の割合が高かったのではないかと疑問が生じたので、この点について検討を行った。

緊急健康診断受診者の年齢階級別分布は表1 3-2のとおり20歳代～50歳代の働き世代が9割近くを占めている。23年全国調査における年齢階級別構成は不明であるが、労働安全衛生法に基づく健康診断である以上表1 3-2に示した年齢階級別分布と大きく異なることはないものと考えられる。

また、表1 3-1-2のとおり聴力検査(4,000Hz)の有所見率は22年被災3県調査(20年調査、21年調査も同様)では高く、緊急健康診断受診者の年齢階級別分布が平成22年度と大きく変化したとは考えにくい。

表 1 3-2 3県の年齢階級別受診者数と雇用者数の構成

年代別	受診者数(3県合計)	雇用者数(3県合計)	比率(%)
～19	1,478人	19,492人	0.8
20～29	23,598	342,041	6.9
30～39	29,947	463,425	6.5
40～49	23,894	436,990	5.5
50～59	24,055	446,886	5.5
60～69	12,050	191,325	6.3
70以上	1,050	28,672	3.7
計	116,072	1,928,831	6.0

(注) 本表は、表7-1及び表7-1-2の一部の再掲である。

## エ 年齢階級別の分析

年齢階級(6区分)ごとの有所見者数と有所見率は表1 4のとおりである。

11項目の検査のうち何らかの検査で所見があるとされた受診者の割合である有所見率は、全体としては表1 3-1にあるとおり、70.9%である。

年齢階級別の有所見率は、表1 4の最右欄にあるように年齢が上がるにつれて増大している。年齢階級による有所見率は39.9%から94.7%までの範囲にあり、年齢階級による差は顕著である。

また、検査項目により年齢階級による差に相違があり、貧血検査、尿検査(蛋白)などを除いてその差が著しい。その他次のような結果が生じている。

- ・ 聴力(1,000Hz)、胸部X線検査、貧血検査、尿検査(蛋白)及び心電図検査については、19歳以下が20歳台より高くなっている。
- ・ 貧血検査は年齢階級により凸凹がある。
- ・ 肝機能検査及び血中脂質検査については、50歳台が60歳以上より高くなっている。

表 1 4 年齢階級別有所見者数（上段）・有所見率（下段）

年齢階級	受診者数	項目別の有所見者数・有所見率（％）											有所見者
		聴力(1000Hz)	聴力(4000Hz)	胸部X線検査	血圧検査	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	尿検査(糖)	尿検査(蛋白)	心電図検査	
～19	1,478	22	7	26	107	129	101	247	36	5	57	150	589
		1.5	0.5	1.8	7.2	8.7	6.8	16.7	2.4	0.3	3.9	10.1	<b>39.9</b>
20～29	23,598	288	233	395	2,251	1,628	2,919	5,476	1,132	172	733	2,291	10,765
		1.2	1.0	1.7	9.5	6.9	12.4	23.2	4.8	0.7	3.1	9.7	<b>45.6</b>
30～39	29,947	441	854	698	4,547	2,250	6,432	10,825	2,717	550	839	3,095	17,668
		1.5	2.9	2.3	15.2	7.5	21.5	36.1	9.1	1.8	2.8	10.3	<b>59.0</b>
40～49	23,894	630	2,109	965	6,057	3,093	6,898	12,716	4,505	1,005	701	3,737	19,252
		2.6	8.8	4.0	25.3	12.9	28.9	53.2	18.9	4.2	2.9	15.6	<b>80.6</b>
50～59	24,055	1,658	5,418	1,516	8,591	2,624	7,414	14,244	7,405	1,667	797	5,242	21,563
		6.9	22.5	6.3	35.7	10.9	30.8	59.2	30.8	6.9	3.3	21.8	<b>89.6</b>
60～	13,100	2,060	5,642	1,467	5,654	1,684	3,929	7,371	5,307	1,287	583	3,794	12,404
		15.7	43.1	11.2	43.2	12.9	30.0	56.3	40.5	9.8	4.5	29.0	<b>94.7</b>
合計	116,072	5,099	14,263	5,067	27,207	11,408	27,693	50,879	21,102	4,686	3,710	18,309	82,241
		4.4	12.3	4.4	23.4	9.8	23.9	43.9	18.2	4.0	3.2	15.8	<b>70.9</b>

## (2) ストレスチェックの結果とその分析

緊急健康診断を受診したのは116,072人であるが、このうち、ストレスチェックを希望した受診者は32,844人(28.3%)であった。

ストレスチェックは、全衛連メンタルヘルスサービスで使用しているものを用いて実施した。通常59項目の質問すべてに回答してもらっているが、緊急健康診断においては、心身の状態を把握する28項目についてのみ回答してもらった(附属資料Ⅲ参照)。

このうち分析対象としたのは、次の「ストレスの状態18項目」及び「抑うつ感6項目」である。なお、「抑うつ感6項目」は13～18の質問をいう。

1 活気がわいてくる	7 ひどく疲れた	13 ゆうつだ
2 元気がいっぱいだ	8 へとへとだ	14 何をするのも面倒だ
3 生き生きする	9 だるい	15 物事に集中できない
4 怒りを感じる	10 気がはりつめている	16 気分が晴れない
5 内心腹ただしい	11 不安だ	17 仕事を手につかない
6 イライラしている	12 落ち着かない	18 悲しいと感じる

### ア ストレスチェック結果

緊急健康診断受診者のうちストレスチェックも併せて実施した受診者32,844人のストレスの状態18項目の得点の平均値は38.3点であった。ストレスチェック受診者のうち、全衛連メンタルヘルスサービスにおいて高ストレス状態と判定する51点以上の高ストレス状態は3,923人(11.9%)であった。また、ストレスチェック受診者の抑うつ感6項目の得点の平均は10.5点で、全衛連メンタルヘルスサービスにおいて抑うつ傾向と判定する17点以上の抑うつ傾向は2,684人(8.2%)であった(表15)。

この結果を、平成22年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果(全国の希望事業場に対するサービス結果)と比較したところ、平均ストレス点数、平均抑うつ点数とも緊急健診におけるストレスチェックの方が高く、また、高ストレス状態、抑うつ傾向と判断された人の割合も高かった。

なお、ストレスチェックの結果、高ストレス状態および抑うつ傾向と判定された人の比率が高かったことについては、ストレスチェックを希望者のみとしたため、メンタルヘルス不調を自覚していたり、ストレスに関心のある受診者が多かった可能性があり、サンプルに偏りがある可能性がある。このため健康診断を受診した116,072人のメンタルヘルスの状態を反映しているとは断定できない。

表15 項目別所見率(有)と高ストレス・抑うつの関係

区分	ストレスチェック実施数	ストレス状態		抑うつ感	
		平均点数	51点以上	平均点数	17点以上
平成22年度 (全衛連メンタルヘルスサービス)	25,878	36.5	2,284人 (8.8%)	10.0	1,673人 (6.5%)
平成23年度 (緊急健診のストレスチェック)	32,844	38.3	3,923人 (11.9%)	10.5	2,684人 (8.2%)

## イ ストレスチェック結果と有所見率

健康診断項目別に「所見あり」と判定された受診者、「所見なし」と判定された受診者の各々の平均ストレス点数をみたのが表16である。健康診断における所見の有無とストレス点数、抑うつ点数との関係については、「所見あり」の群が「所見なし」の群と殆ど差がなく、むしろ「所見なし」の群の方が「所見あり」の群がと比べてわずかながら高かった。

なお、表中「緊急健診有所見率 (%)」はストレスチェックを受診した32,844人の健康診断項目別有所見率である。

表16 項目別所見の有無とストレス点数・抑うつ点数の関係

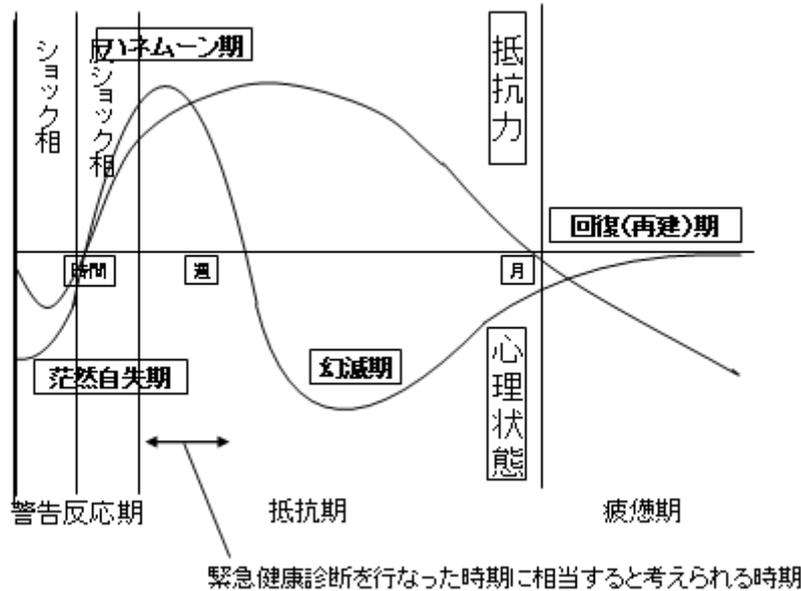
	聴力 (1000Hz)	聴力 (4000Hz)	胸部 X線検査	血圧検査	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	尿検査 (糖)	尿検査 (蛋白)	心電図検査
緊急健診有所見率 (%)	3.9	9.4	4.0	19.2	9.7	22.5	44.2	18.8	2.9	3.4	13.2
緊急健康診断の結果、「所見なし」群の平均ストレス点数、抑うつ点数											
平均ストレス点数	38.4	38.6	38.4	38.7	38.3	38.5	38.8	38.7	38.3	38.3	38.5
平均抑うつ点数	10.6	10.6	10.6	10.6	10.5	10.6	10.7	10.6	10.5	10.5	10.6
緊急健康診断の結果、「所見あり」群の平均ストレス点数、抑うつ点数											
平均ストレス点数	36.2	35.7	37.0	36.8	38.3	37.7	37.7	36.8	37.0	38.2	37.3
平均抑うつ点数	9.9	9.8	10.1	10.0	10.5	10.4	10.3	10.1	10.2	10.5	10.3

### (考察)

ストレスチェック受診者32,884人の有所見率は、緊急健康診断受診者116,072人の結果と同様、震災前過去3年間の被災3県有所見率と比較して相当程度に高かった。しかし、各項目の有所見者および無所見者それぞれに心理的ストレス反応および抑うつ感の点数には差がみられなかったことは注目すべき結果である。

この要因として考えられるのは、緊急健康診断を行った平成23年7月から10月にかけての期間は、Selyeの汎適応症候群でいう抵抗期であり、被災者の心理的経過においてハネムーン期であったと推測できる。Raphaelの図<sup>2)</sup>と、Selyeの図<sup>3)</sup>を重ねたものを「図 被災労働者の心理的・身体的経過<sup>4)</sup>」に示した。

図 被災労働者の心理的・身体的経過



※Raphaelの図と、Selyeの図を重ねて作成

この図において矢印の範囲で示したものが緊急健康診断の行われた時期と考えた。この時期には、抵抗期として副腎皮質ホルモンの分泌増加によりストレスに抵抗し、さらに運動不足や不規則な食生活なども関与して血圧や血糖値の増加などをきたしたものと推測される。一方で心理的にはハネムーン期にあり、被災者同士が体験を共有し、生活基盤の回復に向けて一体感をもって活動しているため心理的な反応が必ずしも伴わなかったため、検査所見の有無と心理的ストレス反応や抑うつ感に差が現れなかったと考えられる。

### (災害と高血圧)

ストレスと関連のある代表的な疾患として高血圧を例にとると、血圧上昇の要因として考えられるのは、震災そのものによるストレスや環境の変化により適切な睡眠がとれなくなり、サーカディアンリズムの障害が起きて交換神経系の機能亢進や食塩感受性の亢進、さらに日常と異なる食塩摂取の増加が伴うことである。震災と血圧の関係では、次のような報告がある。

震災発生後約2週間後に自治医科大学災害派遣医療チームが岩手県大船渡市の避難所における被災者の血圧コントロール状況を調べたところ、収縮期血圧 140mmHg で区切った場合、約85%がコントロール不良であり、180mmHg 以上を呈した被災者は25%を越えていた<sup>5)</sup>。震災後に上昇した血圧はほとんどが一過性であり1ヶ月程度で安定化するとされているが<sup>5)</sup>、1988年にアルメニア共和国で起きた大地震(マグニチュード6.9、死者25,000人以上と推定)後の調査では、高血圧の発症については震災後半年まで発症頻度が高いことがうかがえた<sup>6)</sup>。

すなわち、東日本大震災では被害が甚大であったため、抵抗期が長引いており高血圧の状態が震災後4ヶ月から7ヶ月経過した緊急健康診断の時期まで続いていた受診者が多くいたと考えられる。

### (Hans Selye の汎適応症候群)

Selye は、持続的にストレスが加えられたときの生体の抵抗性の変化に注目し、全身適応症候群（または汎適応症候群, **general adaptation syndrome**) を提唱した<sup>3)</sup>。まず生体が突然ストレスにさらされたときに警告反応を示し、前半のショック相では体温下降、血圧低下、血糖値低下、神経活動の抑制、筋緊張の低下、血液の濃縮などが起こり、数時間から1日程度である。後半の反ショック相ではショックから立ち直りストレスに対して抵抗を示し、体温、血圧、血糖値の上昇、神経活動の上昇、筋緊張の増加などがみられる。さらにストレスが持続すると抵抗期になり、ストレスと生体の抵抗力が一定のバランスを保つようになる。もっとストレスが持続すると、生体は一定の抵抗力を示すことができなくなり、ついには破綻してしまう。この時期は疲憊期といい、ショック相と同様に体温下降、胸腺やリンパ腺の萎縮、副腎皮質機能低下をきたす。

(3) アンケート調査の結果

緊急健康診断受診者に対して被災状況アンケートを実施した。アンケートの内容は次のとおりである。

- Q 1 震災時あなたはどこにいましたか。
- Q 2 津波を体験しましたか。
- Q 3 あなたのお住まいは福島第一原子力発電所のお近くですか。
- Q 4 家族・友人等身近な人で亡くなった方はいますか。
- Q 5 地震、津波による住宅被害はありましたか。
- Q 6 震災後、あなたの仕事は大きく変化しましたか。それは現在も続いていますか。
- Q 7 震災後、仕事量の変化はありましたか。それは現在も続いていますか。
- Q 8 震災により、将来に対する不安が増しましたか。

被災状況アンケート調査に回答したのは 102,627 人であるが、ストレスチェックを受診した 32,831 人（ストレスチェックを受診した 32,844 人のうち、アンケート調査には回答していない 13 人がいたため）について分析した。

Q 1 震災発生時あなたはどこにいましたか。(1)(2)(3)の各々からお答えください (各 1 つ)

(1)  岩手県  宮城県  福島県  その他

区分	岩手県	宮城県	福島県	その他	未選択
回答数	5,905	21,712	3,820	813	581
割合 (%)	18.0	66.1	11.6	2.5	1.8

(2)  沿岸部  内陸部

区分	沿岸部	内陸部	未選択
回答数	4,983	12,557	15,291
割合 (%)	15.2	38.2	46.6

(3)  屋内  屋外

区分	屋内	屋外	未選択
回答数	13,419	4,509	14,903
割合 (%)	40.9	13.7	45.4

Q 2 津波を体験しましたか。(1つ)

はい  いいえ

区分	はい	いいえ	未選択
回答数	4,823	27,608	400
割合 (%)	14.7	84.1	1.2

Q 3 あなたのお住まいは福島第1原子力発電所のお近くですか（1つ）

避難指示区域内  それ以外

区分	避難指示区域内	それ以外	未選択
回答数	251	31,924	656
割合 (%)	0.8	97.2	2.0

Q 4 家族、友人等身近な人でなくなった方はいますか。（複数回答可）

家族  親戚  大切な友人  職場関係者  いない

区分	家族	親戚	大切な友人	職場関係者	いない	割合 (%)
回答パターン	<input type="checkbox"/>					1.5
		<input type="checkbox"/>				12.6
			<input type="checkbox"/>			4.3
				<input type="checkbox"/>		5.3
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				0.5
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			0.2
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		0.1
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1.9
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.8
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1.9
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		0.1
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.8
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.0
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			0.2
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.1
				<input type="checkbox"/>	69.7	

Q 5 地震、津波による住宅被害はありましたか（1つ）

全壊  半壊  床上・床下浸水  その他  被害なし

区分	全壊	半壊	床上・床下浸水	その他	被害なし	未選択
回答数	2,540	2,979	458	11,974	14,364	529
割合 (%)	7.7	9.1	1.4	36.5	43.8	1.6

Q 6 震災後、あなたの仕事は大きく変化しましたか。それが現在も続いていますか。（1つ）

従前のまま  従前と大きく異なった  休職中  その他

区分	従前のまま	従前と大きく異なった	休職中	その他	未選択
回答数	23,297	6,114	194	2,377	862
割合 (%)	71.0	18.6	0.6	7.2	2.6

Q7 震災後、仕事量の変化はありましたか。それは現在も続いていますか。(1つ)

大幅に増えた  顕著な変化はない  大幅に減った

区分	大幅に増えた	顕著な変化はない	大幅に減った	未選択
回答数	7,068	21,526	2,737	1,500
割合 (%)	21.5	65.6	8.3	4.6

Q8 震災により、将来に対する不安が増しましたか。(複数回答可)

会社の将来  経済問題  子供の教育  その他

区分	会社の将来	経済問題	子供の教育	その他	未選択	割合 (%)
回答 パターン	<input type="checkbox"/>					2.8
		<input type="checkbox"/>				31.6
			<input type="checkbox"/>			4.8
				<input type="checkbox"/>		8.6
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				10.4
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			0.3
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		0.2
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			5.1
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.4
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		1.9
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		0.9
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.6
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.0
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			4.7
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0.8
				<input type="checkbox"/>	26.9	

#### (4) アンケート調査回答状況とストレスチェック結果の関係

アンケート調査の質問・回答の別にストレス状態と抑うつ感の関係をみると次のとおりである。

##### Q1 震災発生時あなたはどこにいましたか。

都道府県別には、福島県がストレス状態と抑うつ感がやや高い(表17-1)。沿岸部と内陸部の別では、沿岸部の方が少し高い(表17-2)。屋内と屋外の別では、屋内の方がやや高い(表17-3)。

表17-1 都道府県別回答状況とストレス状態・抑うつ感

区分	岩手県	宮城県	福島県	その他	未選択
回答数	5,905	21,712	3,820	813	581
割合 (%)	17.9	66.1	11.6	2.5	1.8
平均ストレス点数	38.1	38.4	38.6	36.8	36.0
平均抑うつ点数	10.5	10.6	10.6	10.1	10.0
51点以上 (%)	11.6	12.2	12.2	9.1	9.3
17点以上 (%)	8.3	8.2	8.6	5.9	7.4

表17-2 沿岸部・内陸部の別とストレス状態・抑うつ感

区分	沿岸部	内陸部	未選択
回答数	4,983	12,557	15,291
割合 (%)	15.18	38.25	46.57
平均ストレス点数	38.7	38.2	38.3
平均抑うつ点数	10.7	10.5	10.5
51点以上 (%)	13.3	11.7	11.7
17点以上 (%)	9.5	7.6	8.2

表17-3 屋内・屋外の別とストレス状態・抑うつ感

区分	屋内	屋外	未選択
回答数	13,419	4,509	14,903
割合 (%)	40.9	13.7	45.4
平均ストレス点数	38.6	37.5	38.3
平均抑うつ点数	10.6	10.3	10.6
51点以上 (%)	12.6	10.8	11.7
17点以上 (%)	8.2	8.2	8.2

Q2 津波の体験をしましたか。

津波の体験の有無別では、「有」の方がストレス状態・抑うつ感が高い（表18）。

表18 津波の体験の有無とストレス状態・抑うつ感

区分	はい	いいえ	未選択
回答数	4,823	27,608	400
割合 (%)	14.7	84.1	1.2
平均ストレス点数	39.1	38.2	37.0
平均抑うつ点数	10.9	10.5	10.3
51点以上 (%)	13.7	11.7	8.5
17点以上 (%)	10.1	7.9	6.3

Q3 あなたのお住まいは福島第一原子力発電所のお近くですか。

住居と第一原子力発電所の位置関係では、避難指示区域内の方がそれ以外に比較してストレス状態・抑うつ感が高く、特に高ストレス（51点以上）の者の割合が高い（表19）。

表19 住居と福島第一原子力発電所の位置関係とストレス状態・抑うつ感

区分	避難指示区域内	それ以外	未選択
回答数	251	31,924	656
割合 (%)	0.7	97.2	2.0
平均ストレス点数	40.4	38.3	37.6
平均抑うつ点数	11.4	10.5	10.6
51点以上 (%)	17.1	11.9	11.0
17点以上 (%)	12.4	8.1	8.8

Q4 家族・友人等身近な人で亡くなった方はいますか。(複数回答あり)

高ストレス状態と判定された人が高い割合を示しているのは、① 家族・親戚・職場関係者に死亡がある場合、② 家族・親戚・大切な友人・職場関係者に死亡がある場合、③ 家族・大切な友人に死亡がある場合及び家族・親戚・大切な友人に死亡がある場合の順である。また、抑うつ状態(17点以上)の高い割合を示しているのは、① 家族・親戚・職場関係者に死亡がある場合、② 家族・大切な友人に死亡がある場合、③ 家族に死亡がある場合の順である(表20)。

表20 身近な人の死亡の有無とストレス状態・抑うつ感

区分	家族	親戚	大切な友人	職場関係者	いない	割合(%)	ストレス点数	抑うつ点数	51点以上(%)	17点以上(%)
回答パターン	○					1.5	40.2	11.6	15.0	14.2
		○				12.6	38.4	10.6	11.7	8.3
			○			4.3	39.3	11.0	14.7	10.6
				○		5.3	39.1	10.8	13.4	8.7
	○	○				0.5	40.4	11.6	14.1	14.1
	○		○			0.2	41.8	12.1	21.2	19.3
	○			○		0.1	38.7	10.5	12.3	4.9
		○	○			1.9	39.9	11.3	16.4	12.5
		○		○		1.9	39.8	11.1	14.8	10.6
			○	○		0.7	40.8	11.7	18.8	14.0
	○	○	○			0.2	40.8	12.0	21.2	13.5
	○		○	○		0.1	45.8	13.2	13.1	13.1
		○	○	○		0.8	41.6	11.8	17.0	12.7
	○	○	○	○		0.1	45.4	12.5	28.5	12.7
				○	69.7	37.9	10.4	11.2	7.4	

Q5 地震、津波による住宅被害はありましたか。

住宅の被害の有無とその程度の別に見ると、「全壊」、「半壊」、「その他」、「床上・床下浸水」、「被害なし」の順に平均ストレス点数・平均抑うつ点数が高く、あるいは高ストレス状態、抑うつ傾向の割合が大きい(表21)。

表21 住宅被害の有無・程度とストレス状態・抑うつ感

区分	全壊	半壊	床上・床下浸水	その他	被害なし	未選択
回答数	2,540	2,979	458	11,974	14,364	516
割合(%)	7.7	9.1	1.4	36.5	43.8	1.6
平均ストレス点数	40.1	39	38.3	38.4	37.8	37.2
平均抑うつ点数	11.4	10.8	10.7	10.5	10.4	10.2
51点以上(%)	16.1	14.2	10.3	11.8	11.0	10.1
17点以上(%)	13.1	9.8	6.3	7.5	7.6	7.6

Q6 震災後、あなたの仕事は大きく変化しましたか。それは現在も続いていますか。

仕事の大きな変化の有無等の別にみると、「従前と大きく異なった」、「休職中」、「その他」、「従前のまま」の順に平均ストレス点数・平均抑うつ点数が高く、あるいは高ストレス状態・抑うつ傾向の割合が大きい。なお、高ストレス状態（51点以上）については、「休職中」と「その他」の割合が逆転している（表22）。

表22 仕事の大きな変化とストレス状態・抑うつ感

区分	従前のまま	大きく異なった	休職中	その他	未選択
回答数	23,297	6,114	194	2,377	849
割合 (%)	71.0	18.6	0.6	7.2	2.6
平均ストレス点数	37.8	40.4	38.5	38.4	37.4
平均抑うつ点数	10.3	11.3	11.3	10.6	10.3
51点以上 (%)	10.6	17.2	11.3	12.3	9.8
17点以上 (%)	7.2	11.8	12.4	8.8	6.9

Q7 震災後、仕事量の変化はありましたか。それは現在も続いていますか。

仕事量の変化についてみると、「大幅に増えた」、「大幅に減った」、「顕著な変化はない」の順に平均ストレス点数・平均抑うつ点数が高く、あるいは高ストレス状態・抑うつ傾向の割合が大きい（表23）。

表23 仕事量の変化とストレス状態・抑うつ感

区分	大幅に増えた	顕著な変化はない	大幅に減った	未選択
回答数	7,068	21,526	2,737	1,500
割合 (%)	21.5	65.6	8.3	4.6
平均ストレス点数	40.9	37.4	39.4	37
平均抑うつ点数	11.2	10.3	11.1	10.1
51点以上 (%)	17.7	10.0	13.8	9.9
17点以上 (%)	11.0	7.1	10.2	6.7

Q8 震災により、将来に対する不安が増しましたか。

将来の不安の増大の有無とその内容の別にみると、ストレス点数・抑うつ点数の平均値が高く、高ストレス状態（51点以上）の割合が大きいのが、「会社の将来・子供の教育・その他」、「会社の将来・経済問題・その他」、「会社の将来・経済問題・子供の教育・その他」の回答パターンの順である。また、抑うつ傾向（17点以上）の割合が大きいのが、「会社の将来・経済問題・その他」、「経済問題・子供の教育・その他」、「会社の将来・経済問題・子供の教育・その他」の回答パターンの順である（表24）。

表 2 4 将来に対する不安の増大の有無・内容とストレス状態・抑うつ感

区分	会社の将来	経済問題	子供の教育	その他	未選択	割合 (%)	ストレス	抑うつ	51 点以上 (%)	17 点以上 (%)
回答パターン	○					2.8	37.8	10.5	10.4	8.2
		○				31.6	37.9	10.4	10.3	7.1
			○			4.8	38.2	10.4	10.1	6.6
				○		8.6	37.9	10.4	12.3	9.3
	○	○				10.4	40.7	11.4	16.6	11.0
	○		○			0.3	39.0	10.6	10.5	6.3
	○			○		0.2	41.6	11.4	20.0	15.0
		○	○			5.1	39.8	10.9	15.3	9.1
			○	○		0.5	40.7	10.9	15.6	8.2
		○		○		1.9	40.7	11.5	17.4	12.2
	○	○		○		0.9	45.1	13.0	30.6	21.8
		○	○	○		0.6	42.1	12.1	22.7	17.7
	○		○	○		0.1	46.7	13.9	33.3	16.7
	○	○	○			4.7	41.7	11.6	19.5	13.0
	○	○	○	○		0.8	43.7	12.4	27.1	17.4
				○	26.9	36.5	9.9	8.7	6.0	

(考察)

津波を体験したのは 4,823 人 (14.7%)、福島第一原発事故による避難指示区域内に住居があるのは 251 人 (0.8%)、家族、親戚、友人、職場関係者等身近な人を亡くしたのは 9,941 人 (30.3%)、全壊、半壊、床上浸水等の住宅被害にあったのは 5,977 人 (18.2%)、震災後仕事に変化したのは 6,308 人 (19.2%)、震災後仕事量が変化したのは 9,805 人 (29.9%)、会社の将来、経済問題、子供の教育等将来に対する不安が増大したのは 23,992 人 (73.1%) であった。

これらの状況が、(1) で述べた健康診断結果、(2) で述べたストレスチェック結果に反映したことは明らかと考える。

参考文献

- 1) 労働省. 平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書 2000, p221.
- 2) Raphael B. When disaster strikes. New York : Basic Books, 1986.
- 3) 河野友信. 産業ストレスの臨床. 東京:朝倉書店, 1987 : 5-17.
- 4) 吉村靖司, 荒井稔, 只野祐, 東日本大震災の被災労働者における心身の影響～全衛連の行った緊急健康診断事業から～、産業精神保健、Vol.20、No.特別号、10-15、2012
- 5) 星出聡. [各論]高血圧編. 日本医事新報 2011 ; No.4566 : 52-57.
- 6) Armernian HK, et al : Am J Epidemiol 1998 ; 148 : 1077.

## 付属資料

### I 事業周知用チラシ

#### 「被災労働者に対する緊急健康診断」(無料)のお知らせ

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

3月11日に発生した東日本大震災では多数の事業場、労働者が被災しました。

震災によるストレス、過労等の心身の負担により、被災地の労働者に健康障害が生じることが懸念されています。

このため、自らの健康に不安を感じる労働者の健康確保を図るため、国が、震災の被災地域の中事業場の労働者を対象に、無料の健康診断を実施することになりました。この健康診断を利用して健康確保を図ってください。

なお、この健康診断は、健康診断機関の全国組織である全国労働衛生団体連合会が国から委託を受けて実施するものです。費用は無料です。

#### 1 対象者

岩手県、宮城県、福島県の規模300人未満の中小事業場の労働者の方です。

#### 2 申込み

原則として事業場単位で申し込みを受け付けます(労働者個人の申し込みにも対応します)。下記の健康診断機関に申し込んでください。

#### 3 申込受付期間

平成23年7月から10月末日です。

(予算に限りがありますので、予定数に達した時点で受け付けを終了させていただきます。)

#### 4 健康診断の日時、場所

健康診断機関担当者が事業場担当者と打ち合わせをし、予め健診日時、場所等を決定します。

健康診断は原則として事業場に赴いて実施します。また、津波被害等により事業場施設が利用できない場合には、被害を受けなかった周辺の公共施設等において集合健康診断を実施します。健康診断機関の施設で受診を希望する場合にも対応します。

#### 【問合せ・申込受付先】

岩手県	(財)岩手県予防医学協会	019-638-7185	総合企画課
宮城県	(財)杜の都産業保健会	022-251-7261	健診企画部
	(財)宮城県成人病予防協会	022-375-7122	業務部
福島県	(財)福島県労働保健センター	024-554-1133	事業推進部

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 <http://www.zeneiren.or.jp>

TEL 03-5442-5934

## 緊急健康診断の内容

### 1 健康診断の内容

健康診断の内容は、次の項目及びストレスチェックです。

健診内容	検査項目
既往歴及び業務歴の調査	医師による診察
自覚症状及び他覚症状の有無の検査	医師による診察
身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査	身長・体重・腹囲の計測 遠方視力検査、聴力検査(1000 及び 4000Hz)
胸部エックス線検査	胸部レントゲン撮影
血圧の測定	血圧測定
貧血検査	血色素量、赤血球数
肝機能検査	AST、ALT、 $\gamma$ -GTP
血中脂質検査	TG、HDL-C、LDL-C
血糖検査	血糖値
尿検査	尿糖、尿蛋白
心電図検査	12誘導心電図検査
ストレスチェック	チェックシートによる検査（希望者のみ）

※上記項目は労働安全衛生規則の一般定期健康診断（第44条第1項）と同じ項目です（ストレスチェックを除く）。

労働安全衛生規則の省略基準に準じて省略可能です。

本人の希望により一部の検査項目を受診しないことも可能です。

### 2 ストレスチェックについて

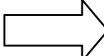
- ① 希望者に対しストレスチェックを実施します（事業所単位に受診する労働者を対象）。
- ② ストレスチェックは厚生労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」を使用して実施します。

### 3 結果の報告

この健康診断は、労働安全衛生法第66条に基づき事業者が実施する健康診断ではありません。健康診断結果及びストレスチェック結果は本人にのみ通知します。

## II アンケート調査票

### 緊急健康診断事業アンケート

この部分は健診機関が記入します。  [事業場コード] 

--	--	--	--	--

  
[受診者コード] 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

以下の質問にお答えください。該当する□にレ印をつけてください。

**お答えしにくい項目には回答されなくても結構です。**

事業場コード _____
受診日 ____年 ____月 ____日 受診番号 _____

 この部分は健診機関が記入します。

- 1 震災発生時あなたはどこにいましたか。(1)(2)(3)の各々からお答えください(各1つ)
  - (1)  岩手県  宮城県  福島県  その他
  - (2)  沿岸部  内陸部
  - (3)  屋内  屋外
- 2 津波を体験しましたか。(1つ)  
 はい  いいえ
- 3 あなたのお住まいは福島第1原子力発電所のお近くですか(1つ)  
 避難指示区域内  それ以外
- 4 家族、友人等身近な人でなくなった方はいますか。(複数回答可)  
 家族  親戚  大切な友人  職場関係者  いない
- 5 地震、津波による住宅被害はありましたか(1つ)  
 全壊  半壊  床上・床下浸水  その他  被害なし
- 6 震災後、あなたの仕事は大きく変化しましたか。それが現在も続いていますか。(1つ)  
 従前のまま  従前と大きく異なった  休職中  その他
- 7 震災後、仕事量の変化はありましたか。それは現在も続いていますか。(1つ)  
 大幅に増えた  顕著な変化はない  大幅に減った
- 8 震災により、将来に対する不安が増しましたか。(複数回答可)  
 会社の将来  経済問題  子供の教育  その他

「その他」を選んだ方は具体的に記述してください。

### Ⅲ ストレスチェックシート

#### 緊急健康診断事業用

全 衛 連

#### ス ト レ ス チ ェ ッ ク シ ー ト

※裏面赤枠の部分だけの回答でも結構です。

##### 【お知らせとお願い】

- ① このチェックシートは厚生労働省が開発した「職業性ストレス簡易調査票」を基本に、一部項目を追加しています。
- ② メンタルヘルスサービスは、「ストレスチェック」及びその結果に基づく「事後指導」から構成されています。「ストレスチェック」は、中災防が開発したシステムの提供を受けて実施します。
- ③ 「ストレスチェック」では、このチェックシートの各質問に対するあなたの回答に基づき、セルフケアにお役立てしていただくためのアドバイスを、後日、個人評価結果（「あなたのストレスプロフィール」）に記載してお返しします。
- ④ 裏面の左上部に記載の氏名等をご確認のうえ、質問項目にご回答ください。
- ⑤ 1つの設問に対してどれか1つの回答を選択し、黒鉛筆（HB以上の濃さ）で該当する枠中の橙色マークをしっかりと塗り潰してください。

マークの仕方

良い例



悪い例



- ⑥ 全項目に回答するようお願いします。（赤枠部分だけでも結構です。）
- ⑦ 記入が済みましたら、健康診断受診の際にご提出ください。
- ⑧ このチェックシートにお答えいただいた個人情報を含む回答データは、実施機関が責任をもって保管致します。あなたの同意がない限り、個人の回答データ及び評価結果を第三者へ提供することはありません。ただし、産業保健向上を目的とした学術研究等に使用するために、特定の個人が識別できないように匿名化したうえで利用することがあります。
- ⑨ 「ストレスチェック」の結果、ストレス得点が高い人など一定の方に対して、産業保健に精通した医師等による「事後指導」の機会を提供します。「事後指導」の対象となった方へは別途ご案内いたします。
- ⑩ 上記内容にご承諾いただきましたら、右の同意欄にチェックをお願いします。

《 ストレスチェック実施機関 》

【OCR用紙 裏面】

事業場	
所属部署	
氏名	1.男 2.女
生年月日	歳

〔事業場コード〕

--	--	--	--	--	--	--	--

〔受診者コード〕

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものを1つぬりつぶしてください。

	ほとんどなかった	まあまああった	やや多かった	多かった
1. 非常にたくさん仕事をしなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 時間内に仕事が処理しきれない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 一生懸命働かなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. かなり注意を集中する必要がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. からだを大変よく使う仕事だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 自分のペースで仕事ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 私の部署内で意見のくい違いがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 私の部署と他の部署とはうまが合わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 私の職場の雰囲気は友好的である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 仕事の内容は自分にあっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 働きがいのある仕事だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□最近1か月のあなたの状態についてうかがいます。最もあてはまるものを1つぬりつぶしてください。

	かなり多かった	やや多かった	まあまああった	ほとんどなかった
1. 活気がわいてくる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 元気がいっぱいだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 生き生きする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 怒りを感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 内心腹立たしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. イライラしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. ひどく疲れた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. へとへとだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. だるい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 気がはりつめている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 不安だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 落ち着かない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. ゆうつだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 何をしても面倒だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 物事に集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 気分が晴れない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 仕事を手につかない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 悲しいと感じる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. めまいがする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどあった
20. 体のふしふしが痛む	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 頭が重かったり頭痛がする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 首筋や肩がこる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 腰が痛い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 目が疲れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 動悸や息切れがする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 胃腸の具合が悪い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27. 食欲がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28. 便秘や下痢をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29. よく眠れない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□あなたの周りの方々にについてうかがいます。最もあてはまるものを1つぬりつぶしてください。

次の人たちはどれくらい気軽に話ができますか？

	非常に	かなり	多少	全くない
1. 上司	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 職場の同僚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 配偶者、家族、友人等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

あなたが困った時、次の人たちのどのくらい頼りになりますか？

	非常に	かなり	多少	全くない
4. 上司	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 職場の同僚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 配偶者、家族、友人等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか？

	非常に	かなり	多少	全くない
7. 上司	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 職場の同僚	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 配偶者、家族、友人等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□満足度についてうかがいます。

	満足	まあ満足	やや不満足	不満足
1. 仕事に満足だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 家庭生活に満足だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□こころの健康問題について何か相談したいことがありますか。

1. 相談したいことはない	<input type="checkbox"/>
2. 相談したいことはあるが、今すぐ相談しようとは思わない	<input type="checkbox"/>
3. 相談したいことがあり、今すぐに（たとえば1ヶ月以内）でも相談したい	<input type="checkbox"/>

□先月の時間外労働時間（残業）はどれくらいでしたか？

1. 45時間未満	<input type="checkbox"/>	2. 45～60時間未満	<input type="checkbox"/>
3. 60～80時間未満	<input type="checkbox"/>	4. 80～100時間未満	<input type="checkbox"/>
5. 100時間以上	<input type="checkbox"/>		

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会  
会長 加藤 丈夫

〒108-0014

東京都港区芝 4-4-5

三田労働基準協会ビル 4F

TEL 03-5442-5934 FAX 03-5442-5937